

令和4年度 第3回市政モニターアンケート結果

朝霞市 市政情報課

※構成比率は、回答者数を基数として百分率（％）で表示しています。百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の場合は、構成比率の合計が100%を超える場合があります。

※回答対象者数よりも回答数が多い場合があります。

※自由記述の表現はできる限り原文のまま記載していますが、一部表現を修正しているところがあります。

●テーマ 「暮らしつづけたいまち」って、どのようなまちを想像しますか？

第5次朝霞市総合計画では、市の将来像（ビジョン）を「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」とし、一人一人が「暮らしつづけたい」と思えるまちを目指して、市では次の4つの基本概念（コンセプト）に基づいた施策に取り組んでいます。

そこで、皆さんの暮らしの中で以下の4つのコンセプトが実感できているかをお聞きし、このアンケートの結果と市が実施した施策とを継続して比較していくことで、今後のまちづくりに役立てていきたいと考えています。

安全・安心なまち
問4～問14

子育てがしやすいまち
問15～問20

つながりのある元気なまち
問21～問32

自然・環境に恵まれたまち
問33～問41

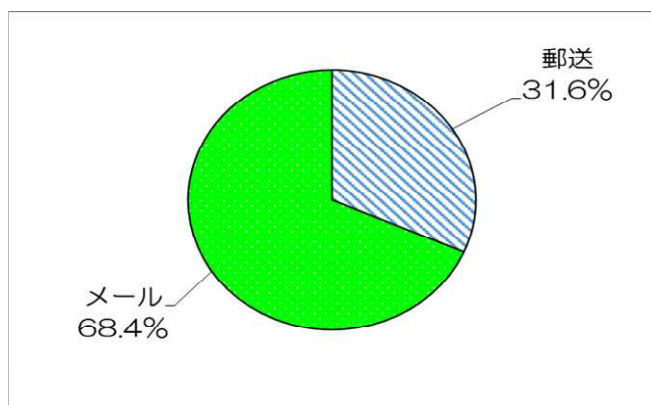
●実施期間 令和5年2月1日（水）から令和5年2月17日（金）まで

●調査対象者 朝霞市市政モニター 379名

●回答者数 244名（回答率 64.4%）

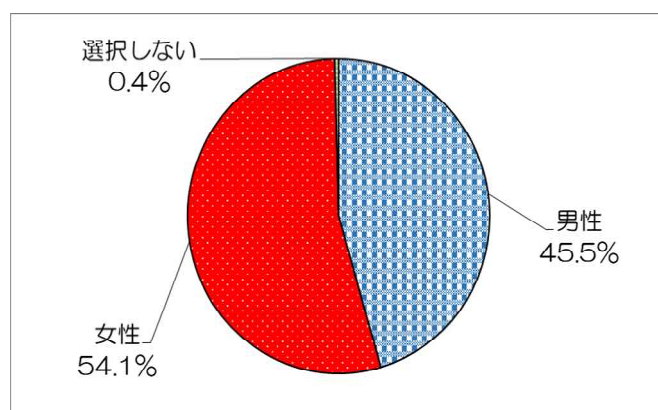
●回答方法

回答方法	人数	構成比（%）
郵送	77	31.6
メール	167	68.4



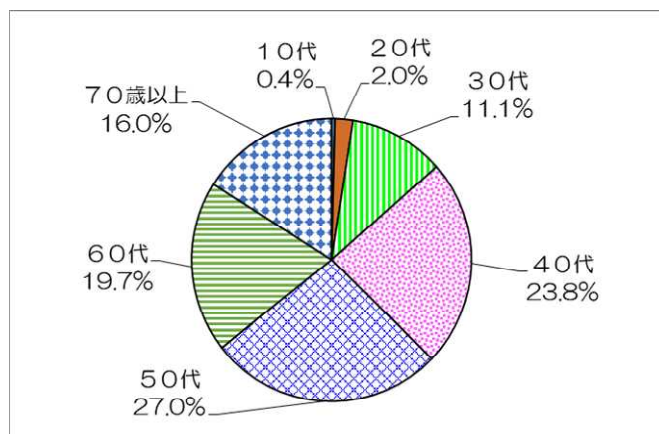
問1. あなたの性別を教えてください。

性別	人数	構成比（%）
男性	111	45.5
女性	132	54.1
選択しない	1	0.4



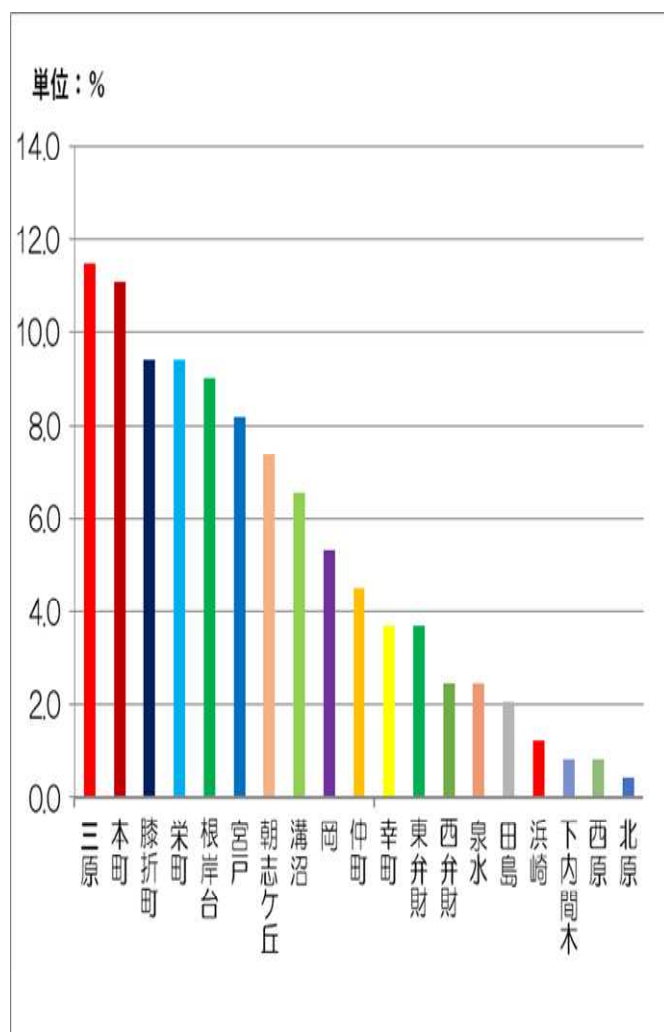
問2. あなたの年齢を教えてください。

年代	人数	構成比 (%)
10代	1	0.4
20代	5	2.0
30代	27	11.1
40代	58	23.8
50代	66	27.0
60代	48	19.7
70歳以上	39	16.0



問3. お住まいの地域を教えてください。

地域	人数	構成比 (%)
三原	28	11.5
本町	27	11.1
膝折町	23	9.4
栄町	23	9.4
根岸台	22	9.0
宮戸	20	8.2
朝志ヶ丘	18	7.4
溝沼	16	6.6
岡	13	5.3
仲町	11	4.5
幸町	9	3.7
東弁財	9	3.7
西弁財	6	2.5
泉水	6	2.5
田島	5	2.0
浜崎	3	1.2
下内間木	2	0.8
西原	2	0.8
北原	1	0.4



安全・安心なまち（問4～問14）

問4. 『誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・通学路や交差点の安全対策 ・道路照明灯の設置
- ・幹線道路網の整備 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	8	3.3
どちらかといえば満足	81	33.2
どちらかといえば不満	88	36.1
不満	61	25.0
わからない	6	2.5



市道15号線 歩道築造工事

問5. 『ユニバーサルデザインに配慮した公共施設の整備』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・公共施設の改修（トイレ洋式化、オストメイト設備の設置、段差解消、授乳室の設置、点字付案内板の設置）など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	20	8.2
どちらかといえば満足	121	49.6
どちらかといえば不満	50	20.5
不満	18	7.4
わからない	35	14.3



図書館本館改修工事での点字付案内板設置

問6. 『地震災害時の避難路や緊急輸送路となる幹線道路の整備』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・緊急輸送路（国道254号）につながる観音通線の整備 ・落橋防止対策
- ・北朝霞駅、朝霞台駅、朝霞駅前広場の維持管理 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	15	6.1
どちらかといえば満足	84	34.4
どちらかといえば不満	68	27.9
不満	26	10.7
わからない	51	20.9



整備後の観音通線

問7. 『集中豪雨などによる浸水被害の軽減対策』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・雨水管や道路側溝の整備
- ・浸水を防ぐための排水機場の維持管理
- ・止水板設置への補助
- ・洪水及び土砂災害ハザードマップの作成 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	16	6.6
どちらかといえば満足	98	40.2
どちらかといえば不満	52	21.3
不満	17	7.0
わからない	61	25.0



雨水管布設工事



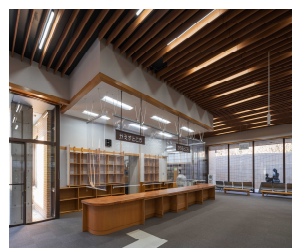
浜崎排水機場

問8. 『上下水道などのインフラ、公共施設などの計画的な耐震化・老朽化対策』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・橋梁の耐震補強工事
- ・導水管、配水管、給水管、消火栓の維持
- ・図書館本館改修工事
- ・下水道管の老朽化対策 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	19	7.8
どちらかといえば満足	103	42.2
どちらかといえば不満	51	20.9
不満	11	4.5
わからない	60	24.6



図書館本館改修工事



水道管耐震化工事

問9. 『防災、減災のための自助、共助、公助による地域防災計画の推進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・町内会等での防災訓練実施
- ・災害用備蓄食料の整備
- ・防災フェアの開催
- ・避難所での感染症対策の整備 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	13	5.3
どちらかといえば満足	74	30.3
どちらかといえば不満	50	20.5
不満	17	7.0
わからない	90	36.9



防災フェア



避難所開設のイメージ

問 10. 『市民・地域の主体的な防犯・防災活動や交通安全活動などの支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・防犯パトロールの実施 ・交通安全運動による啓発
- ・防犯カメラ設置への支援 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	15	6.1
どちらかといえば満足	97	39.8
どちらかといえば不満	65	26.6
不満	14	5.7
わからない	53	21.7



防犯パトロール



交通安全教室

問 11. 『警察や消防などの関係機関、地域の事業者との連携』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・警察との連携による青色防犯パトロールカー巡回 ・防火水槽、車両の維持管理
- ・朝霞警察署や埼玉県南西部消防本部との連携 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	18	7.4
どちらかといえば満足	104	42.6
どちらかといえば不満	39	16.0
不満	13	5.3
わからない	70	28.7



朝霞市消防団
第5分団

問 12. 『社会的弱者といわれる子ども、高齢者、障害のある人、低所得者などが地域で自立した生活を営むために必要な支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・地域包括支援センターでの相談業務や各種助成の実施 ・手話通訳者の派遣
- ・子育て支援センターでの子育て相談、情報提供
- ・生活困窮世帯の中・高校生を対象とした学習支援 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	13	5.3
どちらかといえば満足	71	29.1
どちらかといえば不満	49	20.1
不満	16	6.6
わからない	94	38.5
無回答	1	0.4



市主催行事における
手話通訳者の派遣

問 13. 『市民が安心して暮らせるための社会保障制度の適正な運営』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていらっしゃいますか。

<主な取組内容>

- ・介護保険による介護サービスの給付
- ・特定健康診査、特定保健指導の実施 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	22	9.0
どちらかといえば満足	93	38.1
どちらかといえば不満	43	17.6
不満	16	6.6
わからない	70	28.7

問 14. 「安全・安心なまち」(問4～13)について、御意見などがございましたら、記入してください。

- 小学校の周辺の交通量の多い所にはハンプの設備を極力進めていただきたい。第五小学校近くには4か所のハンプがあり、素晴らしい。(70歳以上 男性)
- 行政としての業務内容は満足です。個々についての問題点等が明らかになれば、最良の安全・安心のまちに寄与すると思います。(70歳以上 男性)
- 第三小学校への学童の通学路は、車の交通が多いので、宝蔵寺から武蔵野線を超える所まで地元車以外の通りを止めてほしい。(70歳以上 男性)
- 警察と調整し、防犯カメラの適正な増設を図るべきである。安全な歩道の整備を更に推進すべきである。(70歳以上 男性)
- 全体としての方向性が見えない。何をどのように改善して進行していくか、姿勢が表面に出てきていない。何をしているのか分からない。(70歳以上 男性)
- 活動内容が分からないものがほとんどです。(40代 女性)
- 「第二小学校入口」付近は、道路に電柱が多くて危険だと思います。(60代 女性)
- 各々それなりに行っていると思うが、告知の方法がいまいちだと感じます。もっと誰もが認知できるような対策が先だと思います。行政の片手間ではなく、専門部署の立ち上げをしてはどうだろうか。(70歳以上 男性)
- 何を持って「安全・安心なまち」と言っているのか分からない。真っ暗な道は、真っ暗なまま。歩道と車道の間段差はそのまま。このようなアンケートも何度となく繰り返しているが、進んでいる所は主要な所のわずか。そこから1本も2本入った所には全く入っていない。そういう所で事故が起きている。(60代 女性)
- 街路樹の「つつじ」が大きくて高いと感じています。車道から歩道を歩く幼児が見えず、飛び出しなどの危険を察知するのが難しいと思います。花はきれいで楽しみでもありますが、50cm位に低くしていただきたいです。歩行者や運転者に安心安全な道にしてほしいです。(50代 女性)
- 最近、犯罪や盗難が目立つ日々であるため、市内に一区画50か所以上の防犯カメラの早急な設置のための予算を立案し、市民生活の安心安全と犯罪防止の対策は急務と強く考える。県からの予算を役立てるよう願う。(70歳以上 男性)
- 取り組んでくださり、ありがとうございます。(60代 女性)
- 歩道のない道路が多数ある。特に二本松通りは危険。早急な対応が必要。(40代 男性)

- 歩道が整備されていない場所が多い。整備されている場所とされていない場所の差が大きいと思います。(40代 女性)
- 「朝霞台駅入口」から志木へ行く道の歩道が狭くて危ない。朝霞台駅で、もし災害が起きたら乗り換えの人達でパニックする可能性があるので心配。災害用備蓄食料の情報を知らないのを知りたい。駅周辺で夜中に大声で騒いでいる人がいるのに注意されている気配はない。(40代 女性)
- 高齢者が助けを呼べる街にしてほしい。(70歳以上 女性)
- 高齢者の運転が危うく感じる時が数多く有ります。(50代 男性)
- トイレドアが内開きだとブース内での身動きが取れない。駅前広場の路面のインターロッキングの補修が雑である。社会的弱者の通院タクシー代を全額支給にしてほしい。(60代 女性)
- 危険な場所には掲示板の貼り紙を貼っていただきたい。(70歳以上 男性)
- 市の自転車(シェアサイクル)が歩道角に設置のため、歩くのに邪魔になり、自転車が優先になっている。家の前の空地も同じで、自転車が優先している。朝霞駅近辺にあるスーパーマーケット前の道が狭いので、車出口右折をだめにして、人が通りやすい方法はないのか。20時から解除時間制限をしてはどうでしょうか。(50代 女性)
- ゴミ収集や管理について、高齢化住人対策を希望します。(50代 女性)
- 通学路の信号には全て歩行者用の信号を付けてもらいたいと思います。(70歳以上 男性)
- 命に関わることなので、全市民に分かりやすく説明してほしい。(50代 男性)
- 安全・安心に到達点はない。災害や事故が起ってから手落ちに気付く事も多い。再び事故等が起こらない様に対策を立てなければならない。そのために予算が必ず必要となる。だから、常に余裕を持てる市になることを考えるべきだ。将来のために予算を目いっぱい使うべきではないと思う。(70歳以上 男性)
- 都市計画道路をきちんと整備してほしい。メイン道路の電柱を地中に埋めてほしい。市内の道路に歩道をもっと設置してほしい。254バイパスを全面開通させてほしい。上内間木に道の駅を作ってほしい。(50代 男性)
- 県道でも幅が狭い。信号が近くても必要な所は付けるべき。自転車はCO2との関係で良いが、危険では。(70歳以上 男性)
- ワクチン接種、自宅療養者の支援等のコロナ対策について、適切で早急な支援はとても良かったと思う。(70歳以上 女性)
- 交差点のポールが出過ぎていて、車が曲がる時に邪魔になる。夜間、横断歩道の照明が暗く、人や自転車が渡ろうとしていても見づらい。(70歳以上 男性)
- 急に道路が狭くなったり、歩道がいきなり無くなり、また現れたりする道路がある。歩行者も車の運転者もハッとするとところが多々ある。(70歳以上 男性)
- 植え込みが道路まで伸びており、枝等で道路ミラーが隠れて車が見えない等、安全ではない所があります。段差も多いので改修が必要だと思います。(70歳以上 女性)
- 近所で防犯パトロールをしてくださり感謝しています。防災無線が聞き取りにくく、何を言っているのか膝折の方では分かりません。ヘリコプターの方が良く聞こえます。(60代 女性)
- 朝霞駅前交番の署員は、交番の外に朝夕は出てなくパソコンに向かっている。外は見えないので駅前の横断歩道等、抑止力がないので協議してほしい。(60代 男性)
- 朝霞台駅周辺の道路整備が相変わらず進まない。駐車車両が多すぎる。防犯パトロールにしては、いつ誰が行っているのか分からない。自転車の乗り方、歩きスマホ、大変迷惑であり危険なので、監視員を置いてほしい。(50代 女性)

- 通学路の歩道が新築住宅の私有地によって遮断されています。(60代 男性)
- 防犯パトロールを増やしてほしいです。(40代 女性)
- 夜間の照明は私の住んでいる場所は暗くて、外に出られるような所ではありません。地域包括支援センター等、弱者支援機構の利用市民に広く教えてほしい。(70歳以上 女性)
- 道路に関しては、市にお伝えしていると思いますが、通学路(人が通れる)の白線の幅があまりにも狭い。自転車が法的に厳しくなっているが、その教育を子どもだけではなく大人にも実施していただきたいと同時に、自転車専用道路も作っていただきたい。夜道が暗い所がまだまだ多いので明るくしてほしい。青色防犯パトロールの巡回が最近少なくなってきたと思われる。(60代 女性)
- 朝霞駅から市役所に行く道路は、歩行者には安全とは言えないと思います。(70歳以上 女性)
- 古い学校(一小、二小、三小)の校舎の耐久性は大丈夫なのか心配です。図書館本館よりずっと古そうです。つぎはぎして建て増したような校舎は、戸締りも大変そうで、防犯上問題があるのでは。(50代 女性)
- 最近、交通量や住宅及びマンション等が多くなり、場所により防災スピーカーが聞き取れなくなっておりますので、検討をお願い致します。(70歳以上 男性)
- 仲町のスーパーマーケット前の道路は、車が多い上に歩行者や自転車があるので整備してほしい。(50代 女性)
- トラック、ダンプカー等の出入口付近の側溝に土などが溜まっていて、水はけが悪い状況です。定期的に清掃をしてほしいです。水路には周辺の土と一緒に雨水が流れています。整備をしてほしい。(50代 女性)
- 寒い中の防犯パトロール、ありがとうございます。凶悪犯罪が増えているので、防犯カメラの設置を可能な限り増やしていただきたいです。(50代 女性)
- 活動が見えない。(60代 男性)
- 歩道の整備をお願いします。雨水が溜まり、通行にとっても不便な箇所があります。(60代 女性)
- 市役所までの通りがメインストリートであるにも関わらず、非常に危険な状態である。以前、一方通行の実験をしたことがあるが、元通りの対面通行になっている。歩行者は、側溝の上を歩かざるを得ないし、特に車いすでの通行は非常に危険である。郵便局側の道路は整備されて歩道もあるので、支障は最低限になるはずなので、早急に一方通行にすべきと考える。(60代 男性)
- 街灯と防犯カメラの増設及びメンテナンスを希望します。(60代 男性)
- まだまだ完全ではないが、安全安心に対するインフラ整備はよく取り組んでくれていると思う。(60代 男性)
- 文字を読むだけでは、想像できない取り組みが多かった。小学生の登下校に際し、危険を伴う通学路があるように思うので、対応した方がいいと思います。朝霞台の回転寿司店から志木方面へ向かう道路です。(30代 男性)
- 具体的に何をしているかがあまりわかっていない。項目ごとに目指す具体的なゴールを示し、現在やっていることや進捗状況を一覧でしめしてもらおうと理解が進むと思います。(70歳以上 男性)
- 市の取り組みに関して目に見える部分は少なくてもわからないが、安全な街であることは感じている。(60代 男性)

- 歩道が狭い道が多いのでなんとかしてほしいです。(40代 女性)
- 小さな子どもや高齢者の方をあたたく受け入れる街が理想です。市民1人1人が楽しく気持ちよく過ごせるように優しい気持ちを持ってほしいです。外国人の方達が増えていると思うので、特に市役所でおこなう手続きは、それぞれの母国語でのインフォメーションがあるといいですね。(40代 女性)
- 様々な取り組みを実施されていることとは思うが、それを体感し、知ることのできる手段(あるいは周知)が足りていないような気がする。川口市のように、道路側に自転車道を配置するのではなく、自転車と歩行者の通路を整備し、より安全な環境を検討してほしい。(40代 男性)
- ガードレールもない車通りの多い道路が子どもたちの通学路になっていることには驚いています。以前住んでいたところは、片側3車線道路を渡って小学校に通っていたが、全ての道路がガードレールで仕切られており、特に危険だと思ったことはありませんでした。ドライバーと子どもたちの個人の責任にゆだねられているところが、朝霞市の道路事情の脆弱性を示していると思います。「わからない」と回答したところは、本当にわからなかったなのでその回答になりました。市がこんなことを本当にやっているのだろうかと感じたものばかりで、自分の勉強不足もあるかもしれませんが、せっかく行っても市民が知らなければ、その意味が半減してしまうと感じました。(50代 女性)
- 排水溝から虫がわき出ており、臭いや詰りがあっても個人的にどうにもできない時がある。定期的に薬を入れるや、掃除など(ヘドロとりなど)市の補助をいれて地域で協力した活動がほしい。一戸建てでも、隣近所のトラブル絶えず、賃貸のアパートよりもコミュニケーションがない。狭い道路を大型車や小型車でも猛スピードで走り抜ける中、子ども達が歩道もない場所を通学している。コロナで物騒な事件が増える中、子ども、年配者及び町内の安全のためにも、防犯カメラを設置し、安心して歩ける歩道を整備してほしい。警察に何度か巡回頼んだが、一度しか巡回がない。実際に犯罪はあり、巡回をお願いしても頼りにならない。自分達で動くしかないのでは。(40代 女性)
- 普段の生活や震災時におけるペットへの配慮が足りない。ペットがいると不便を余儀なくされるのはおかしい。(50代 女性)
- 小中学生の通学路で非常に暗い場所があり、人通りも少ないので心配。街灯を付けてほしい。また、歩道が狭くて無い箇所も多い。子どもにとって危ないと感じる場所が多い。(30代 女性)
- 歩道を歩いている時、自転車がすぐ横をスピード超過で通ることが度々あり、とても怖い思いをしています。自転車レーンがあるのにも関わらず、歩道を通るのはよくないと思います。スピードを出した自転車と曲がり角ですれ違い、びっくりして転倒した高齢者を助けた事がありました。歩行者が安心して歩けるようにしてほしいです。(60代 女性)
- よく水が濁っていることがあり、不安になります。あまりにも濁っているときは、市に連絡したこともあり、メール配信で濁り水メールを受信したこともありますが、それ以外でも濁る日が多すぎます。直してほしいです。(40代 女性)
- 車道を自転車で走ることが多いが、道路の両端の整備が悪く、転倒しそうになったことが何度かある。道路の整備をお願いしたい。带状疱疹のワクチン接種が推奨され始めていますが、その費用補助をしてほしい。(50代 女性)
- 自転車で安全に走れる道路にしてほしいです。(50代 女性)
- 防犯カメラを設置する。(30代 男性)

- ごみの集積場所について、当番制でされている地域と全くされていない地域が存在しています。不法投棄や放火などの原因になりかねないと思います。ごみに関しては、そこに居住する人で取り決めていかなければならないと言われていています。高齢者や病気及び障がいのある家庭もあり、その中で決めていくことは難しいのではないのでしょうか。条例化を希望します。公平性は個人同士では決めることが困難かと思われます。(50代 女性)
- 仕方がないのかもしれませんが、危ない道路がとにかく多く、日々怖さを感じます。車がすれ違えるかも怪しい幅なのに、交通量が多くて車もスピードを出している。白線も薄くなっており、道路も凸凹に荒れているため、ベビーカーは毎日タイヤが道路に取られます。子どもが顔をぶつけそうになったり、ベビーカーごと横転したりと危険ばかり感じています。特に膝折方面の坂から本町のスーパーマーケットへ向かう道路は危ないです。立ち退き等は難しいでしょうが、流石にどうかしないと子どもたちが本当に心配です。大きな事故があってからでは遅いといつも思っています。(30代 女性)
- 交通量が多いにも関わらず歩道が整備されていない道が多いように感じる。近年改善してきているように感じているが、より一層歩道の整備に力を入れてほしい。(10代 男性)
- 隣接している市に比べて、歩道の整備が遅れていて、ベビーカーで安心して移動できない。その割には狭い歩道に自転車が侵入して、容赦なくベルを鳴らす場合もあり、非常に住みにくい市だと思う。例えば、朝霞台と志木の東上線をくぐるトンネルがあるが、歩道部分に自転車が侵入して、足の不自由な老人やベビーカーに対してベルを鳴らすなどを何度か見かけた。安全・安心なまちを上げるなら、優先順位をつけ、狭い歩道に自転車が侵入しないような基本的なところから守らせていくべきかと思う。また、カラスやムクドリ対策も気になる。北朝霞・朝霞台駅にたまに夜によると、ムクドリが大量におり、カラスも数年前よりかなり多くなってきていると感じる。こういう対策を放置し続けると、フンで道も汚いし、安全・安心なまちとはかけ離れているように感じる。さらに北朝霞陸橋だが、ペンキの定期的な塗替えや錆び対策が不足していて、小汚くなっている感じがする。以前は水道の水漏れの長期的な放置があったが、修繕されて安心している。しかし、地震等で壊れると大きな問題になる橋であるので、もう少し頻繁にペンキ塗替えや錆び対策をして寿命を延ばし、より良い状態で維持することが必要だと思う。(50代 男性)
- 地域住民のそれぞれの立場や状況に応じた情報提供など、共通認識ができているのかは疑問です。リアルな現場が必要としているものが、提示・提供できているのかと、感じています。(40代 女性)
- このアンケートに回答することで様々な取り組みがあることを知りました。既に様々なサービスや取り組みが実施されているが、知らないことが多くありました。市民である自分が知らないことが残念だと感じました。勝手ではありますが、もっともっと市民にアピールや情報発信してもらいたいです。(40代 女性)
- 歩道があまり確保されていない地域が多く、歩行者の立場でも運転者の立場でも危ないと感じる場所が多く感じられます。また、駅近辺の禁煙地区で喫煙している人が多数おり、監視員も注意していないようで非常に不快な思いをしている。(50代 男性)
- 朝霞駅周辺ばかり整備されて、朝霞台側、特に新座との境あたりは、整備が遅れている。歩道も狭いし、歩道がなく危ない道もたくさんある。平等に整備してほしい。(40代 女性)
- 車道と歩道の区別がされていない、狭い道路が多いと思います。この場合においても、歩道部分がわかるように工夫してほしい。(60代 男性)

- 幹線道路ではなく、生活道路の取り組みを行ってほしい。(50代 男性)
- 歩道が狭い道が多いため、歩いていて怖い思いをすることがあります。公共施設においても、和式トイレしかない場所もあるので、洋式化を進めてほしいです。また、小さい子どもを連れて行く公共施設(図書館やプラネタリウム)にはキッズトイレがあると助かります。振り込め詐欺や特殊詐欺の被害防止のアナウンス車の音で、子どもがお昼寝から起きてきてしまい困ったことがあった。アナウンス車は小さい子どもがいる家からするとデメリットに感じます。
(30代 女性)
- 交通量の多い通学路で、歩道が確保されていない箇所がまだ多くある。大事な子どもたちの安全を確保してほしい。(70歳以上 男性)
- 新たに住宅地が開発されているが、それらに対しての街灯や道路の整備は遅れているように感じる。通学の安全の確保や夜道での通行に不安を感じるなど。(40代 男性)
- 自転車が歩道を走っている。(70歳以上 男性)
- 仲町のスーパーマーケット前の通りのガス屋前の道が歩道もなく、子どもを含め、人通りや車の通りもわりと多く、見通しも悪くて危険なので、歩道をしっかりと作ってほしい。
(40代 男性)
- 緊急事態時、災害時における対応は飲料水や食料の確保など、各家庭単位で行っていると思うが、大規模災害に関する対応についての認識や情報が不足しているように思える。非常事態が発生した季節によっても対応策が異なると思うので、暖房機や燃料の備蓄などは常に準備を心掛けているが、公共的には公園などが避難場所として活用されると思うので、もう少し緊急自炊用(竈など)型ベンチなどの設置をしてもよいのではないかと思う。特に、一番問題となるトイレに関する対応についてはどの様に考えているか心配である。防犯については、巡回パトロールも必要ではあるが、夜間の街路灯が少ない場所がまだあると思うので、徐々に増やしてほしい。また、市の防災無線放送が良く聞き取れない場所もあるので、対応策を考えてほしい。防災無線放送は犯罪抑止力にもなると思う。(60代 男性)
- 交通量が多いのに道路整備が遅れていると思います。特に朝霞志木線(道路)においては多くの児童の通学路にもなっているのに、歩道が極めて狭い。片側に歩道が無い場所が多く非常に危険です。道路沿いの建物を建てる際に、一部道路に拠出する政策をもっと強力に進めて歩道を整備してもらいたい。拠出している土地の所有者もいけば、拠出せず新たに建ててしまう所有者もいるのでは不公平だし、いつまで経っても安全な道路が整備できません。もっと強力で法律改正するなり対策が必要です。一部の人損をして一部の人得をする状況は良くありません。横断歩道の表示ペンキが剥がれており、車から横断歩道と認識できない程に劣化している横断歩道表示も多く見受けられます。きめ細かに補修することをお願いします。
(70歳以上 男性)
- 市の取り組みが市民に伝わりづらく、全体的にやや不満な感想を持ってしまう。
(60代 男性)
- 「障害のある人」の表記を、「障がいのある人」に変更を朝霞市社会福祉協議会様とご検討頂ければと思います。ちなみにですが、民間企業に勤めていますが既に10年前に表記を変更しました。(50代 男性)
- 問1以外「わからない」で回答しました。理由は各項目に記載されている取り組みが実際に日常生活の中で感じられないためです。(50代 男性)
- 自転車の乗り方があまり良くない方がいます。教室を開くとか、乗り方・ルール等を広報等で知らせるとか、広く安全な乗り方が知れ渡るといいと思います。(50代 女性)

- 朝霞駅から市役所の道の歩道を何とかしてほしい。(30代 男性)
- 安全安心と言う観点から見ると、市内には民家のブロック塀の間1メートルも無い幅の通路や階段が一般の歩行者が通行する道路となっている所があちこちあって驚きました。人しか通れない通路の奥に住宅が沢山ある状況で、火災や自然災害が起こった時にはどうするのだろうと通るたびに思ってしまいます。また、細いと思われる車道ギリギリにどんどん新しい家が建っているという事は、将来的な街作りや交通整備は置き去りにされたままのような気がします。さらに、朝霞駅前通りの一方通行化見送りの理由の説明が広報などではわからなかったのですが、何らかの公表はあったのでしょうか。実験的な一方通行があり、また元の状態に戻った感じです。(60代 女性)
- インフラ整備が不十分。特に市道の整備が滞っている。不法投棄、路上駐車、放置車両などが常に多いため、現状の把握に努めていただきたい。カーブなどでも減速しない車両が多いため、安心して歩けない。無灯火の自転車が多い。夜間や早朝の事業者による操業が、地元民へ健康被害を与えている。狭い道路への事業用大型車両の通行があり、地元民の自由を奪っている。地元のニーズに合わせた公共交通の運行。点いていない街灯が目立つ。道路冠水整備が行き届いていない。それにより地元を離れる者まで出ている。(50代 男性)
- 朝霞駅周辺の歩道は交通弱者には歩きにくく、危険です。(朝霞駅から市役所、朝霞駅東口の仲町周辺など) 側溝板上を歩かされるのは、歩行者差別さえ感じます。道幅の割に車の通行量が多いし、大型車も通ります。道幅拡張とか一方通行など30年から50年計画で考えてはいかがでしょうか。(70歳以上 女性)
- 町を歩いているとブロック塀の強度に不安を感じる場面が多々あります。個人のお宅のことであるので行政が入りづらいことであると思いますが、何かの時に事故で人命にかかわることになれば良いなと思います。行政が今一度点検指導などをするとよいのではないかと思います。(70歳以上 女性)
- 市の防災や安全等に対する取り組みが末端の市民には見えない。あさか防災を見ても、最終的には自主防災組織(町内会等)で地域を守る活動をしろとだけいていて、その道のプロ集団である市役所から素人の組織にどのような活動をしたらいいのか等の指導やアドバイスが全くされていない。過去されたのかもしれないが、町内会のなかで、防災時の対応や組織体制について何ら連絡等がない。①避難ルート未設定で、避難ルートに問題がある場合(高いブロック塀等)の対応、②緊急避難場所の選定、③緊急避難場所の非常用備品等の情報、④防災組織体制についてのアドバイス、⑤自主防災組織での保有すべき、ないしは推奨する非常用備品等(土嚢等を含め)等。また、市からの情報は広報あさかやホームページで市民に流しているので、十分な対応を取っていると思っているようですが、情報が多すぎて、一般の人は見ない。もっと市民に理解を得るためには、重要な情報のみを集約し、大半の市民が目を通すよう、町内会の回覧板等を利用して流すことを考えるべき。本町一丁目の信号機を歩車分離式信号機に変えるべき。(歩行者の横断で車の右左折ができず膝折へ向かう坂道まで車が渋滞することが多く、危険である。)(70歳以上 男性)
- 宮戸橋通りのような道路拡張も安全な歩道も整備できないまま将来に幹線道路と接続してしまう自動車中心の道路はどうかと思う。幅が狭く照明も暗い道が多く、免許不要の特定小型原動機付自転車の普及に対応できるのか疑問。(40代 男性)
- これまでにない災害や事件が増えているので、難しいことですが過去実績からの対策構築でなく、想定外とならないような先取り対策をお願いしたいと思います。(50代 男性)
- まだまだ暗い道も多く、怖いと感じる。(40代 女性)

- 根岸台周辺は、和光市まで伸びる道路が歩行者スペースのない狭い道路にも関わらず、交通量が多いので歩行の際の安全性が気になります。(40代 女性)
- 自転車優先路の設置が行われていますが、未だに歩道を歩いて自転車に接触しそうになるのでヒヤヒヤする事があります。幅広い周知が出来ればと身近な人には優先路の使用を勧めたりしています。(50代 女性)
- 自転車専用レーンがほとんどなく、自転車で歩道を走るには危険である。また、車道を走るのも自動車に接触しそうになる場面がかなりあり危険である。自動車、自転車及び歩道を明確にわけける街作りをお願いします。国道、県道及び市道においてはすべて区分けをお願いしたい。(60代 男性)
- 浸水被害の対策については、手ぬるいと思います。黒目川沿いや田島の低い土地等浸水被害が予測できる場所には、そもそも人家や公共の施設の建設許可を出さないのが減災ではないでしょうか。ひいてはそれが人命を救い市税の節約にもつながります。人口減少で救助するほうも歳入も余裕がなくなる一方ですから、真剣に取り組んでください。朝霞台の駅前通りに照明が少ない。また、朝霞台の幼稚園前に横断歩道がなくて危ない。(50代 女性)
- 朝霞市で独自に実施している防災・防犯の取り組みの紹介をしてほしい。また、拡張された朝霞駅から川越街道への道路について信号機のない横断歩道が一か所あるが、設置をお願いしたい。交通量の増加から不便が増えています。(50代 男性)
- 夜道(21時から0時)の警察によるパトロールがあると安心です。西弁財、東上線沿いの道路が大雨の時、排水溝から水が溢れます。めったにありませんが、大雪の除雪、特に駅周辺は速やかに行われると良いと思います。(60代 女性)
- 街中(駅周辺)は街灯も明るく、夜道も心配はないが、少し郊外になると真っ暗な場所も多くある。集中的にではなく、まんべんなく実施していただきたい。(50代 男性)
- 様々なことが、以前に比べて良くなっているとは実感していますが、更に改善されて良くなるとよいと思い、評価をつけました。(50代 女性)
- 「誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保」の取り組みについて、危険な生活道路が多くあるように思います。(50代 男性)
- 子育て時、車道と歩道の区別や整備も無い所が多く、ベビーカーなどの車輪も動かしづらい。結果、車椅子などで移動する際も不便です。夜道も街灯が暗く不安です。季節によっては雑草がはみ出して危険です。駅から市役所までも道幅が狭くて歩行がしづらいです。最近、子どもが自転車で段差に転倒した際、真後ろの車に引かれそうになっていました。東武東上線の急行も停車駅となる朝霞です。道の整備を早急にしてほしいです。朝霞に引っ越してきて20年以上たちますが、道の整備は本当に遅いと感じます。(50代 女性)
- 歩車分離の信号について、交通量の多い主要な道路は歩車分離にしてはどうでしょうか。巡回や点検については、シルバー人材等を活用して、各地区の巡回と空き缶などのポイ捨てごみの回収(道路の美化)を行ってはどうでしょうか。街灯を設置については、防犯や交通事故防止のために太陽光蓄電型の街灯をもっと増やしてはどうでしょうか。(60代 男性)
- 安全・安心なまち作りというのは、ハード面とソフト面が両立してこそ成り立つものだと思うので、両者のバランスを取りながら、ぜひ積極的にすすめていただきたいです。(30代 女性)
- 通学路を中学生などが広がって歩き、ボールを蹴りながら歩いていることが多く、車の通行で危険だと感じる事があります。通学時間の見回りや注意してくれる方がいると良いと思います。(20代 女性)

- 交差点の渋滞解消のための対策（右折専用レーン・右折専用信号の設置・信号を車通行用と歩行者用に分ける）を早急に実施してほしい。（50代 男性）
- ホームセンターでのイベントなど取り組みがわかりやすいものもあるが、耐震や防火水槽、車両の維持管理など目に見えにくいものをどうやって評価したらよいか悩む。また、高齢者サービスへの取り組みについては、行政から地域包括にどんどん移行することでより明確なニーズに対応できると思います。（40代 女性）
- アンケートの内容に関係があるかはわかりませんが、膝折町のカーブミラーの結露がひどい日は全く見えず、モップでミラーの届く範囲の下半分だけ拭きに行ったこともあります。通学路で、見通しの悪い急カーブでも、トラックやバスも頻繁に通りますから、曇らないカーブミラーに替えてもらうことは出来ないのでしょうか。（50代 女性）
- 「どのようなまちを想像しますか」というタイトルと設問が一致していません。行政評価に活用されるとのことで、個々の設問が施策の満足度を問うかたちで、「どう想像するか＝市民の意識」を問うものになっていません。また、以下のとおり、満足度を回答できないものが多いです。①「日々の生活でどのように感じているか」という設問になっています。例えば介護保険の介護サービスなどは、日常生活でかかわりのある回答者であれば「満足・不満」を回答しうるとしても、日常生活で介護サービスに関わりがなければ回答できません。②「生活困窮世帯の中・高校生への学習支援」は、「必要な施策である」とは回答できますが、自分が当事者（または関係者）でなければ、「満足・不満」という回答はできません。③「警察と消防本部との連携」といった事例も、具体的にどのように連携していて、どのように安心・安全に寄与しているか（実効性が担保されているか）が分からなければ、回答のしようがありません。④「どのようなまちを想像しますか」と問うのであれば、市民が「安心・安全」についてどのような認識を持っているかを本アンケートで把握したうえで、市民の意識と施策がリンクしているのかを（行政評価として）検証するよう設計されるのであれば、回答しやすいものになったと思います。防災も、ハード面の整備だけでなく、日頃からの地域のつながりが重要であると言われていています。それを裏付けるような市民の意識をアンケートから引き出し、それと各施策をリンクさせることで、指標に基づいて達成度を測るといった定量的な評価だけでなく、市民ニーズをベースにした定性的な評価ができたのではないのでしょうか。問15以降の設問も上記の理由から、ほぼ「分からない」の回答になっています。（60代 男性）
- 急に歩道が無くなる所やそもそも無い所が多い、自転車レーンも含めた整備が必要。自転車が歩道を逆走する原因となっている。自転車のマナーを守らせる事を積極的に行っていない。人通りが少ない所やごみを不法投棄しやすい所など防犯カメラをもっと設置するべき。また、誘拐される恐れがある。（50代 男性）
- 朝霞市に越して来て、東武東上線と武蔵野線と2系統あるので、住み良い町だなと思いました。（50代 男性）
- 通学路や公園のまわりなど危険を感じる場所が多数あります。子どもも多いのに抜け道として車が通る道や夜間の暗い公園やそのまわり及び交差点などの対策をしてほしいです。（40代 男性）
- 道の歩行者部分がまだまだ狭い。車の運転手になった時も、歩行者としても危ないと思うことが多々ある。（30代 女性）
- 朝霞市周辺に比べて朝霞台駅周辺の整備が遅いと感じる。（40代 男性）
- 自転車の夜間のライト点灯の徹底対策を。（60代 男性）
- 特に意識はしてないが、「意識してない＝できている」のだと思います。（50代 男性）